

## 子どもの居場所

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン  
「今日のフォーカスチェンジ」第2280号  
(2010年1月25日発行)より

横浜市青葉区小中高生ミュージカル  
にかかわって、9年になります。  
ふり返って、いくつか思うことがあります。  
そのひとつに、ここには、子どもの  
居場所があるなあということです。

たとえば、休日稽古の日、何人かず  
つ集まって、お昼ごはんを食べてい  
るとき。けっして、そこにいるのが、同  
じ学年の子だけとはかぎらないので  
すね。中学生のなかに、小学生がま  
じっていたり、逆に、小学生のなかに、  
中学生がまじっていたり。  
おそらく、その子にとっては、同じ学  
年の子だけというよりも、話が合った  
り、落ち着いたりするのでしょう。

でも、学校では、なかなか、そんなふう  
に、自由に異年齢の子どもたちが、  
自分の落ち着きどころを見つける機  
会はあります。部活という、異年齢  
の場はありますが、そこでは、おおく  
の場合、学年による上下関係が存在  
します。上下関係のあるところでは、  
安心して、ところをひらくことは、でき

ません。

子どものころというのは、けっして、  
ひとしなみに成長するわけではない  
のです。  
まだ、小学生なのに、びっくりするく  
らい、深い感受性をはたらかせる子  
もいます。そういう子は、ときには、お  
となさえ発想しないような、表現を使  
ったりもしますが、同じ学年の子たち  
からは、「何を言っているのか、わか  
らない」などと言われ、ひとり、浮いて  
しまうことがおおいのです。

本人は、自分の素直な気持ちを表現  
しているだけなのに、まわりには、受  
け入れてもらえない。そうすると、お  
おげさではなく、まさに、アイデンテ  
ィティーがおびやかされるような状態  
になるのです。どこに、ころのよりど  
ころを見つけていいかわからず、窒  
息するような気持ちにとらわれるので  
す。

でも、異年齢の場では、そんな問題は、  
あっという間に解消してしまいま  
す。だって、年齢がいくつかあがるだ  
けで、その子の発想や考えかたは、  
受け入れ可能な範囲になるのです。  
普通に「話が合う」状態になってしま  
えるのです。

逆の場合もそうです。ころがゆっく  
り成長していく子もいるのです。その  
子にとっては、同じ学年の子たちと  
は、どうも話が合わないのです。こ  
うした子の場合も、異年齢の集団のな  
かでは、ちゃんと、仲間を見つけるこ  
とができます。少し年下の子どもたち  
が、そういう子を、まるで問題なく受  
け入れます。仲間になるのに、年齢  
は関係ないのです。

まして、こうして、さまざまな学校や学  
年の子どもたちが集まる場では、上  
下関係は意味がありません。だって、  
高校生で初参加の子もいれば、小学  
生で、すでに数年、かかわっている  
子もいます。稽古の全体をまとめる  
役割は高校生がになっても、具体的  
な歌やダンスのグループリーダーは、  
体験のある子のほうが、向いていたり  
するわけです。どちらが上で、どちら  
が下という問題ではないのです。

そんな、居心地のいい関係が成り立  
っている場にいると、私自身までが、  
居心地のいい気持ちになるのです。  
だから、ついつい、稽古場に顔を出  
したくなるのです。できるかぎりのサ  
ポートもしたくなるのです。

舞台を観に来てくださったかたが、  
おっしゃいました。

「こんな場をもてる子どもたちは幸せ  
ですね」  
ありがたく受け止めながらも、同時に、  
思うのです。もしもそんなふうと思っ  
てもらえるのならば、どんなかたちで  
もいいから、それぞれの場で、そうし  
た場を、つくってほしいと。  
それが、子どもたちよりもたまたま先  
に生まれた「おとな」の役割ではない  
のかと。

私自身も、これから、もつとつと、こ  
の活動をたしかなものにしていきた  
い。そのことをとおして、よりたくさん  
のひとと、思いをわかちあっていき  
たい。

子どもたちが、安心してところをひら  
き、伸び伸びと、自分を表現し、そし  
て、ともに成長することのできる場が、  
日本じゅうのあちこちに、広まってい  
きますように。

ころの底から願います。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカス  
チェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、  
2003年11月1日創刊。2009年4月、  
2000号達成。3秒で読める携帯版もあり。  
無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>